

(様式 5-1)

地域重点施策推進事業事後評価調査(令和2年度実施分)

地域振興局名

平鹿地域振興局

(振興局調整費)

事業名	部名	部長名	担当課	担当班名	電話番号	事業目的・必要性	事業費 (円)	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業効果 (成果・満足度)	自己評価
管内経営者と平鹿地域振興局との意見交換会	総務企画部	小松 弘樹	地域企画課	地域振興班	0182-32-0594	新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会の変化により、新たな生活様式への転換が求められているほか、デジタルシフト、産業構造の変化や人々の行動変化など新しい社会像、社会的価値観も生まれてきている。 各企業が人材確保や職場環境の改善等について様々な取組を行っているが、効果的な取組であっても各企業だけの取組で終わっていることが見受けられることから、地域内の異業種も含めた企業間の情報交換の場が必要である。	51,200	管内経営者と平鹿地域振興局との意見交換会の開催(1月、1回、参加企業4社、主催者8名)	県	管内企業経営者	令和2年12月1日 令和3年5月20日	(参加企業) ・「普段交流が無い業種の経営者との意見交換は大変有意義である」という意見があった。	・新型コロナウイルス感染症の影響で、各社営業活動の自粛をはじめ各種セミナー等の中止など、いろいろな場面での情報収集・共有を図ることが出来ていなかった中、当意見交換会を開催できたことで、コロナ禍がもたらした現状や社会変化に伴う新たな取り組みなど業種を超えて情報交換をすることが出来た。今後はより充実したものとするため、振興局以外の機関(市、ハローワーク、商工会議所等)の参加を検討する必要がある。
横手のスゴイ企業発見!! ガイダンス	総務企画部	小松 弘樹	地域企画課	地域振興班	0182-32-0594	将来の進路を検討する高校2年生が、地元企業から直接事業概要や採用計画などの説明を受ける機会を創出することで、生徒の意思に基づく正しい職業選択を促し、就職後のミスマッチによる離職を防止するとともに、将来的な県内・地元就職と地域の活性化を図ることを目的とする。	46,702	高校2年生対象「横手のスゴイ企業発見!!ガイダンス」の開催(2月、1回、参加事業所49社、参加生徒379名)	県、横手市、横手雇用開発協会、ハローワーク横手	管内高校等2年生及び就職指導担当教員、ハローワーク横手管内の企業	令和2年12月1日 令和3年5月20日	(参加企業及び高校教員) ・企業・当ガイダンスについて引き続き開催してほしいとの意見が寄せられている。	・例年よりも各企業が学校に出向いてPRすることが難しかったこともあり、企業が生徒に直接PR出来たことは生徒にとっても、企業にとっても良い機会となった。引き続き各関係機関と連携し、進学希望者も含めた高校生に対しての企業ガイダンスやインターンシップなど、地元企業の魅力を伝えられる機会を継続的に提供し、雇用のミスマッチ解消、県内就職・地元定住が促進されるよう努めていく必要がある。
横手がまくらFMを活用した情報発信事業	総務企画部	小松 弘樹	地域企画課	地域振興班	0182-32-0594	横手市民の生活に密接に関心が高まっている「雪の被害」と「新型コロナウイルス感染症」の2テーマに関する様々な情報を、地元のメディア(横手がまくらFM)の番組内で放送し、市民へ周知する。	52,800	横手がまくらFMを活用した情報発信を実施(3月、3回放送)	県	横手市民、事業者	令和3年3月1日 令和3年5月20日	・放送による定量的効果(周知人数、支援制度の活用人数)を測る事は難しいものの、放送の曜日と時間帯を1回ごとに変えたことでリスナー層が変わり、幅広く周知できたと思われる。	・雪害や新型コロナウイルス感染症に関連する県の各種支援制度については、ホームページで紹介しているものの、自宅等にネット環境が整備されていない方にとって情報を得る機会の一つとなった。